

第4次扶桑町総合計画について

扶桑町では、長期的視野（平成20年度～29年度）に立ち、町の現況や将来の見通しをもとに、今後のまちづくりに向け、町民の皆さんと力を合わせて確実に目標に向かって進んでいくための指針を策定しました。

その中で、まちの将来像「つなぐ手と心で咲かす大輪の花^{ひまわり}扶桑町」を実現するため、総合的かつ重点的に取り組んでいく施策を4つの戦略プランとして位置づけています。

戦略プラン1 ～やさしさ・やすらぎ・支え合いのあるまちに～

夢と笑顔あふれる
まちづくり

子どもから高齢者、また、障害者一人ひとりが、お互いの個性を尊重し、助け合い、自分らしく生きがいをもって暮らせることのできるまちづくりを進めます。

【主な取組】

- 子育て支援の充実
- 学校教育の充実
- 高齢者生きがいづくり など

戦略プラン2 ～みんなが安全・安心に暮らせる快適なまちに～

温かいまちづくり

お互いが地域でのふれあいや助け合いを通して、災害や事故、犯罪などから町民一人ひとりが安全で安心に暮らし続けられる住みよいまちづくりを進めます。

【主な取組】

- 消防・防災体制の充実と基盤の整備
- 交通安全・防犯啓発と施設の充実
- 環境基本計画づくり など

戦略プラン3 ～みんなの参画と協働で築くまちに～

開かれたまちづくり

住民と行政、住民相互が協力し、町の個性や特徴を生かした“扶桑らしさ”を創造し、町民のまちに対する愛着や誇りを育む地域に根ざしたまちづくりを進めます。

【主な取組】

- 住民活動拠点づくり
- コミュニティ活動の推進
- 広聴制度の充実 など

戦略プラン4 ～自主・自立し時代に合った行政経営ができるまちに～

健全なまちづくり

住民ニーズを的確に把握し政策形成能力をもった人材を育成するとともに、適正な行財政運営ができるまちづくりを進めます。

【主な取組】

- 人材育成システムの構築
- 行政評価の実施
- 行財政改革の推進 など

なお、「第4次扶桑町総合計画ダイジェスト版（概要版）」を、広報ふそう6月号に折り込む予定です。

▼問合せ先 総務部政策調整課 内線316